

第13回 日韓 NGO 湿地フォーラム 国際湿地 NGO ワークショップ

日韓の湿地 NGO は、過去 20 年以上にわたって湿地保全について協力し、2007 年から 10 回のフォーラムを開き、相互の取り組みを深めてきました。2008 年のラムサール条約第 10 回締約国会議 (COP10) における水田決議や、世界湿地ネットワークの設立等を通し、地域 NGO の政策提言が国際条約や国家政策など湿地保全を前進させたことはその成果といえます。

一方で、日本および韓国の湿地は減少の一途をたどり、課題は山積しています。湿地の保全は現場から始まり地域の NGO が鍵を握っています。しかしどの地域も目前の問題に奔走し、全国・世界に向けた対応がますます困難になっています。

湿地減少の要因の過半数は人為的な開発です。埋め立てやダム・堰、複式干拓、防潮堤など、いずれも水の自然な流れを阻む人工物建設です。こうした傾向は、日本だけでなく世界共通の課題であることも見えてきました。そこで、前回のフォーラムでは、水の自然な流れの大切さを国際的に認識させるために、ラムサール条約の決議にするという目標を立てました。

今回のフォーラムは、今年 10 月に UAE のドバイで行われるラムサール条約 COP13 に向けた具体的な戦略計画を立てていきます。併せて、COP13 のテーマである「都市と湿地」について、NGO の立場から提言することをめざして討議します。さらに、今年は国際サンゴ礁年であることもふまえて、沿岸湿地の保全について COP13 で提言することもめざしていきます。

地域の NGO にとって、現場の課題と地球規模の課題の接点を考察すること、国とのコミュニケーションや国際条約が地域に与える役割について知ることは、今後の活動に大きく役立つものと思います。地域で活動する方々もぜひご参加ください。

2018 年
5/19 (土) 20 (日)

石川県勤労者福祉文化会館
ホール (金沢市)

5/18 (金)

河北潟のエクスカージョン

フォーラムやエクスカージョンの詳細は
裏面をご覧ください。



河北潟の
オオヨシキリ

- 主 催 NPO 法人 ラムサール・ネットワーク日本 (RNJ)
- 共 催 韓国湿地 NGO ネットワーク (KWNN)
世界湿地ネットワーク (WWN)
- 協 力 NPO 法人 河北潟湖沼研究所

- 資料代 RNJ 会員 2000 円 / 一般 3000 円
(当日の RNJ 入会も可能です)

●参加方法

- ・フォーラム/ワークショップ: 当日参加も可能ですが、準備の都合上、なるべく 5 月 10 日 (木) までに、以下のウェブサイトの申し込みフォームで参加申し込みをお願いします。
- ・エクスカージョン: 以下の申し込みフォームまたは、河北潟湖沼研究所 (info@kahokugata.sakura.ne.jp) までお申し込みください。
締め切り: 5 月 10 日 (木) (定員となり次第、締め切りとなります)
- ・申し込みフォーム <https://goo.gl/aqtGvC>

●お問い合わせ

ラムサール・ネットワーク日本 事務局
Eメール info@ramnet-j.org TEL/FAX 03-3834-6566





5月19日(土) ● 地域の湿地やWWN事業の報告

9:30 ~ 17:00

セッション 1

地元およびWWNからの報告

- 1) 河北潟の流域再生への取り組み 高橋 久 (河北潟湖沼研究所)
- 2) 私たちはなぜラムサール条約に関わるのか ルイーズ・ダフ (WWN)
- 3) 世界NGO湿地調査 クリス・ロストロン (WWN)
- 4) 国や国際NGOとの関わりを地域に活かすために ルイーズ・ダフ (WWN)

セッション 2

地域からの報告

- 1) 4大河川の堰開放と再自然化の課題 チョン・ギュソク (緑色連合)
- 2) 琉球諸島の沿岸域の現状と国際条約会議への取り組み 安部真理子 (RNJ)
- 3) 韓国の干潟の現状と課題 チョン・ハンチョル (ファソン環境運動連合)
- 4) 東京の川と海~多摩川と東京都の湾岸・葛西三枚洲 金井 裕 (RNJ)

セッション 3

都市と湿地と農業

- 1) 都市の水田の多様な機能とそれを活かした未来の街づくり 呉地正行 (RNJ)
- 2) 市民たちが守る農地トラスト イム・ジヨムヒャン (韓国水田湿地ネットワーク)

セッション 4

COP13に向けた具体的な活動

- サイドイベント、ブース、プレNGO会議などの解説 柏木 実 (RNJ)

5月20日(日) ● COP13に向けた具体的な検討

9:30 ~ 17:00

セッション 5

COP13にかかる決議案に対する対応

- 1) WWNとしてのCOP13 ルイーズ・ダフ (WWN)
- 2) COP13にかかる主な決議案の説明と討議

セッション 6

「水の自然な流れを守る」をCOP14で決議するために

- 1) 「水の自然な流れを守る」をラムサール条約会議で決議するために 陣内隆之 (RNJ)
- 2) 決議案や今後の取り組み等の討議

セッション 7

COP13に向けた具体的な行動計画の討議



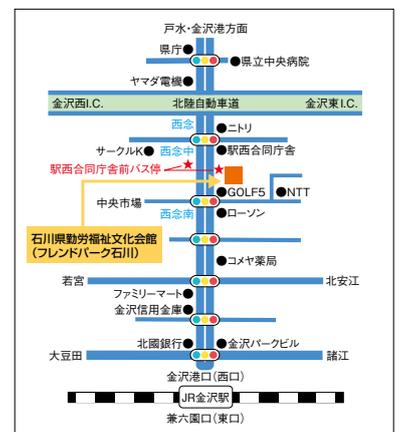
4大河川事業 (韓国・ナクトンガン)

エクスカージョン 5月18日(金)

テーマ:水のつながりと人のつながりをつくる (河北潟および犀川流域)

- 日 時 2018年5月18日(金) 9:00 ~ 20:00 (懇親会)
- 集 合 金沢駅西口団体貸切バス乗降場 8:30集合
- 解 散 津幡駅 (20:16発または20:38発の金沢行の列車に乗ります)
- 参加費 4000円 (昼食代・懇親会費)
- 主 催 NPO法人河北潟湖沼研究所
- 行 程 (一部変更の可能性あり)
 - 9:30 普正寺の森 (犀川河口域) 河川改修計画と普正寺の森の保全
 - 11:30 犀川上流域
 - 12:40 森下川流域 (金沢市牧山町) 無農業の里づくり/古民家で昼食
 - 14:30 道の駅 サンセットパーク内灘 河北潟 (森下川等河口域) の全体像
 - 15:00 才田町 森下川河口 生きもの元気米の取り組み
 - 15:30 河北潟干拓地 水利用の現状等
 - 16:45 道の駅 倶利伽羅塾
 - 17:00 河北潟を深く知るミニセミナー (和室でパワーポイント上映)
 - 18:00 懇親会 (倶利伽羅塾和室にて2時間)
 - 流域の農作物、加賀の地酒、生きもの元気米、すずめ野菜の料理

※このエクスカージョンは地球環境基金の助成を受けて実施します。



石川県勤労福祉文化会館 (フレンドパーク石川)
 石川県金沢市西念3-3-5 TEL 076-234-2421
 【徒歩】JR金沢駅・金沢港口(西口)より約20分
 【バス】JR金沢駅・金沢港口(西口)バスターミナル6番のりばより乗車、約5分 (01 ~ 07・64番「県庁」・「中央病院」・「畝田住宅」・「工業試験場」・「消費生活支援センター」行きなど)。駅西合同庁舎前バス停下車後、徒歩1分 (金沢駅より220円)